

「事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表」

公表日 令和5年3月1日公開

特定非営利活動法人みんなのひろば
放課後等デイサービスほーかごひろば

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			訓練室は2室あり、心身の状況に合わせて使用している。広さも十分である。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準に基づいて、基準より多く配置している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			手すり、階段落下防止等を設置
	④	虐待防止委員会が設置されているか	○			委員会を定期開催し、職員研修も進めている
	⑤	身体的拘束適正化委員会は設置されているか	○			委員会を定期開催し、職員研修も進めている
	⑥	ハラスメント防止対策の指針は整備されているか	○			指針を整備し、全職員等に周知している
業務改善	⑦	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎月カンファレンスを実施している
	⑧	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回アンケートを実施し、意向を確認している
	⑨	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			NP0法人みんなのひろばWebサイトで公開
	⑩	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在、第三者の外部評価は行っていない 今後、第三者評価を行えるよう検討中である。
	⑪	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員研修計画に基づいてOJT、OFF-JTを実施 オンライン型の研修システムを導入した
適切な 支援の提供	⑫	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の意見を聞き入れながら作成している
	⑬	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			当法人作成のアセスメントシートを使用
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフ会議によりプログラムの立案を実施している
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員研修等により新たなプログラムを企画できるよう実施している
	⑯	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			おやつ作り教室、季節行事、野外活動、体育館活動、児童会活動などを実施している

適切な支援の提供	⑰	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			組み合わせて実施できるよう努めている
	⑱	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日の留意点等を毎日、全スタッフが出席するスタッフミーティングにより確認している
	⑲	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			引継簿、ケース記録等により要点をまとめ、必要に応じてケース会議の議案としている
	⑳	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			提供記録、ケース記録への記入を行い、確認のための保護者記入欄を設けている
	㉑	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			少なくとも6ヶ月に1回行うように設定
	㉒	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			組み合わせて支援しており、今後も改善しながら進めていく
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉓	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者・児発管、担当職員は必ず参加
	㉔	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			利用開始前に連絡調整を行い、開始後は適宜担任等と意見交換を行っている
	㉕	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は該当者はいないが、書面による指示・連携体制を整備している
	㉖	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	現在は該当者がいない
	㉗	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援専門員や事業所にそれまでの支援内容等の情報を提供している
	㉘	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			スタッフが専門機関主催の研修会へ参加している
	㉙	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			体育館活動等は障害のない子どもたちと交流しながら活動している
	㉚	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			伊達市こども部会に参加し、情報交換を行っている
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や提供記録、必要があればプリント・連絡帳でやり取りを行っている

	③②	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者との相談・助言の機会を多くし、また保護者向けの研修会等への参加を呼び掛けている
保護者への説明責任等	③③	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、丁寧な説明に努めており、説明後、署名・押印をいただいている
	③④	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談室を設置し、相談のしやすい雰囲気・環境に努めている
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	プライバシーに配慮しつつ開催を検討中。まだ開催には至っていない。
	③⑥	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に窓口等の説明を行っている
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動ごとに保護者向けのプリントを配布(参加意向も含め)また、法人会報を発行している。
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	○			運営規程・重要事項説明書に定めるとおり
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳・提供記録で伝えるように努めている
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			体育館活動は地域の方も自由参加であり、良い交流を図りながら活動している
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定しており、職員、保護者、利用児に周知を行っている。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			2カ月に1回、計画に沿って実施している
	④⑬	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			講師を招へいしての研修会など計画に沿って実施している。オンライン研修会も活用している
	④⑭	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在は該当者がいない 身体的拘束適正化委員会を設置している
	④⑮	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		該当者がいないため指示書の取り寄せは未実施
	④⑯	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットマネジメント会議を実施し、事例集も作成